

2014年1月1日 初詣礼拝

司 会 ①右澤兄 ②三畑長老

奏 楽
祈 禱

賛 美 新聖歌20番「主の真実はくしきかな」
(罪とがをゆるされ) (栄光の雲)

主の祈り

聖 書 ヨハネによる福音書14章12～16節

音 楽 佐佐木ジョシュア師(演歌賛美)

メッセージ「笑われる門には福(福音)来たる！」 大川従道牧師

賛 美 聖歌229番「アメージング・グレイス」(献金)

頌 栄 聖歌700番「それ神は」アーメン

祝 禱

②日本舞踊・奥野真弓姉

「何事でもわたしの名によって願うならば、
わたしはそれをかなえてあげよう。」

(ヨハネ十四の十四)

新年明けまして おめでとうございます!!

「あなたは神と和らいで、平安を得るがよい。

そうすれば 幸福があなたに来るでしょう。」(ヨブ記22章21節)

今年もどうぞよろしく！主の祝福を心からお祈りいたします。

2014年 元旦

主任牧師 大川従道・道子
スタッフ一同、執事会一同

【大和ニュース】

☆初詣礼拝に出席できず感謝！皆様に感謝！演歌賛美、日本舞踊の奉仕者に感謝！

☆東京伝道に道が開かれて大感謝！『東京リニューアル』3月23日(日)pm5:00より

場所は、ハイアット・リージェンシー・ホテルの地下大ホール(東京都庁の隣のホテル)。

聖会中ホテルの地下駐車場は無料。月1回の予定。キッズルームあり。

☆「初週特別祈禱会」①10時・久保田文吾師。②13時・坪井永光師。*按手あり。

石の枕

明けましておめでとうございます!! さあ今年も新しいことに挑戦しましょう!
《365日一生感謝》の1月2日の文章です。

難破して漂流の末に無人島にたどりついたロビンソン・クルーソーは、毎日の生活をノートに記録した。

「私が寂しい島に打ち上げられたことは不運だったが、海で溺れて死ななかったことは幸運なことであった。

私が人間社会から追放されたことは不運だったが、飢え死にしなかったことは幸運なことであった。

服がないことは不運だったが、服が必要ないほど気候が暖かいことは幸運なことであった。私に身を守る道具がないことは不運だったが、私を襲う野獣がないことは幸運なことであった。

話し相手がないことは不運だったが、神様とだけ交わることができることは幸運なことであった。

難破して航海を続けることができないのは不運だったが、難破した船が海岸近くに打ち上げられ、必要なものを手に入れることができたことは幸運なことであった。

クルーソーは、幸運と不運をすべて列挙した後、この世には否定的なことであれ、肯定的なことであれ、悲惨すぎて感謝できないというものは何もないという結論に達した。

昨年、孫娘と旅をしたとき、就寝前に、今日一日いくつ感謝することができるか数え上げてゲームのように楽しんで、主に祈り、聖書を読んでねむりについた。

あなたの今年の課題に、何が起こっても感謝する体質に変貌する、というのを入れてみませんか。最初が肝心(肝腎ともかく、それほど大切ということ)。いつから? 「今でしょう!!」。21日で習慣化するのだそうです。

*私はもう少し達筆で、芸術的から解放されたら、次の詩を書いてみたい。

天のお父さま どんな不幸を吸っても はく息は感謝でありますように
すべては恵みの呼吸ですから (河野進・詩集「ぞうきん」より)